

3-2 RBO 第1期 (1997頃-2009) ~準備数年と始まりの約10年間~

「図書館フレンズ田原(以後フレンズ)」が始まったころ 1992-1999

フレンズは「よい図書館を創る会」や「くぬぎの会」ら、図書館建設を望む人たちによって生まれた。折からの全国市町村合併の機運が渦巻き、中心市街地まちづくり検討も盛んな時期だった。田原でも『新しいまちづくりに図書館建設を!』という市民の声が高まり、徐々に町議会議員らもフレンズの活動に関心を示して、良い意味での超党派的な集まりになっていった。

この広がりには市民提案で実現した糸賀雅児氏と菅原峻氏講演会開催によって、いっそう確実なものとなり、講演会後も両氏からの田原への繋がり・アドバイスは続けられ、実際の図書館建設の実現や設計者選定などに大きな力を与えた。

徐々にまちも流れをくみ、やがて徹底した「情報公開」の方針を採用するようになっていった。建築基本設計と実施設計の公開、情報の開示と共に、コンペで決定された設計事務所(和(やまと)設計事務所)と市民との切れ間ない数々の話し合い『情報広場』、他図書館視察会の協働開催や、市民が発案する先進地視察事業などが、図書館建設準備室の協力を得て実現していった(3冊の「図書館フレンズ田原・会報」に詳細)。

この経験はフリースペース設置とリサイクル・ブック・オフィス設立への大きな力となった。大まかな初期の活動は以下の通り。

日付	田原町、議会、準備室の動き	フレンズの活動
1992(H4)	神本浩子「よい図書館を創る会」	チラシで呼掛け→賛同者を募る
1996(H8)	「本と仲良くなるために」糸賀雅児氏講演会提案・参加	講演会開催協力 図書館建設構想委員会開催
1997(H9) 11/21	「糸賀先生の話聞く会」開催 「図書館フレンズ田原」発足	図書館及び生涯学習施設建設懇話会開催
1998(H10)	「フレンズはこんな図書館がほしいなあーKJ法のまとめー」作成、町に発表 →基本計画に対する要望書・署名提出	田原町図書館及び生涯学習施設基本計画書発表(連空間設計事務所・豊橋市)、町議会、図書館・生涯学習センター特別研究会報告
1999(H11)	菅原峻氏講演会 「21世紀に贈ることの出来る図書館を」	指名審査委員会・設計業者決定 (株)和(やまと)設計事務所・東京

図書館建設前後に視察した県外の図書館・生涯学習センター(名称は訪問時のもの)

〔滋賀県〕高月町立図書館、八日市市立図書館、湖東町立図書館、能登川町立図書館、永源寺町立図書館など
〔九州〕苅田町立図書館、伊万里市民図書館、三日月町立図書館、森山町立図書館など
〔関東〕寄居町立図書館、鶴ヶ島図書館、横浜市かながわ県民活動サポートセンター、鎌倉市中央図書館と鎌倉市民活動支援センター、浦安市中央図書館、成田市中央図書館など
〔町民海外派遣事業で〕ヘルシンキ中央図書館、ストックホルム市立図書館、レクサンド市立図書館など

リサイクル・ブック・オフィス(RBO)が始まった! 1998-2004

もともと長年議論されていた“図書館資料という公共物再利用は是か非か?”の根本的な理解について、フレンズとNPOは、「資源のサステナブル利用」という判断を提示していった。

図書館資料活用先進地の八日市、箕輪、豊中の事例からも大きな影響をもらったが、この田原方式での「リサイクル・ブック・オフィス事業」は、すべての資料を1点50円で販売し、生じた利益を運営必要経費と図書館資料として還元させる方法をとっている。この方法は図書館建設活動に力を出した図書館フレンズ田原と当時の町会議員のアドバイスから始まった。田原町(のちの田原市)はそれを承認、協働事業としたのだった。

- ▶ 図書館建設の為に先進地図書館視察の経験が、田原方式RBO事業発想の始まりだった。「図書館の除籍本の一部や寄贈本を販売し、資料のサステナブル利用をしている図書館が在る!」
- ▶ 「平成13年度田原町、たはらNPO企画コンペ・募集」に図書館フレンズ田原が応募。『たはらフリースペースの有効利用について～図書館フレンズ田原ならフリースペースをこう使う～』を提出(2002・H14/3/25)。
- ▶ 図書館オープニングフェスティバル(2002)での寄贈本を募っての試行的販売開始! 約1年間の試行熟考、事業のNPO支援体制付加を提案、法人化の準備・申請を進める。
- ▶ 田原町教育委員会の正式販売許可を得、同時提案事業の「チケット販売」も認可を得る。NPO法人たはら広場認証を見越して、豊橋市・渥美町へのチケット販売認可紹介を行う。図書館開館翌年から田原町が市民環境部(当時)主催のエコ事業開始、実行委員として事業協力参加を決める。

日付	RBOに関わる動き	補足
1998(H10)ー 1999(H11)	滋賀県八日市市立図書館(現東近江市立八日市図書館)の活動を知る	(→その後:情報広場⑤「図書館見学会」でバス視察 参加29名)
2000(H12)	情報広場③「フリースペース」開催(ゲスト かながわ県民サポートセンター 石田静子氏)	設計者も積極的参加
2001(H13)迄	(2000 建設着工→2001/9 いずみ号巡回) 建設中の文化会館内フリースペースに「リサイクル本コーナー」設置検討→決定	滋賀県八日市市立図書館(現東近江市立八日市図書館)「ぶっくる」を数回視察
2002(H14)3/25 8/1	「たはらフリースペースの有効利用について」発表 →田原町教育委員会生涯学習課が田原文化会館利用基準を策定	第1回NPO企画コンペに応募、基準策定前にリサイクル本販売とチケット販売について意見交換会を多く開催
8/2	田原町図書館オープン「リサイクル本市」を開催 ←事前に寄贈本などを募り、定価を添付	田原町立図書館オープニングフェスティバル開催(アトリウムコンサートなどで約1ヵ月間継続)
2003(H15) 1/29	収益で児童書17冊を購入、図書館へ寄贈(リサイクル図書市より19,908円)	

日付	RBOに関わる動き	補足
2004(H16)6/28 6/29 7/27	図書館オープニング1周年・フェスティバル RBO協賛デモ・オープン No.1 RBOデモ・オープン No.2	(図書館1歳のお誕生日会とアトリウム コンサート等) 6月から毎月活動収支報告
8/2	リサイクル・ブック・オフィス(RBO)事業開始! 田原町教育委員会、 フレンズに「リサイクル本の販売事業」を許可	リサイクル本(資料)定義・目的 (取扱い資料は田原町図書館廃棄本や 寄贈本の内不要になったものとする)
8/7	RBO 備え付け書架の簡易シャッター取付	鍵の後付け作業後使用開始[9/5~]
8/18	地元タカサキ新聞 PR 版にて告知	販売時間(金・土・日午後2~7時)告知
8/20	田原市制開始→田原市中央図書館へ名称変更	田原市赤羽根町図書館へ名称変更
10/20	「リサイクル本の販売」についての許可	(特定非営利活動法人たはら広場 に対して、田原町教育委員会富永委員長)
10/31	NPO 法人たはら広場設立認証	フレンズ・発案/NPO・運営
2004(H16)1/6	「リサイクル・ブック・オフィス 5 か月間のまとめ」	これ以降毎月のまとめ報告
1/24	「本のいのちをのばそう」ポスター作成	後日貼りパネデザイン作品に!
4/9	大阪市箕面市立西南図書館視察	館内リサイクル本コーナーにて「人と本 を紡ぐ会(代表:新井せい子氏)」
6/11	地元の東日新聞記事に活動紹介	タイトル『リサイクル本を1冊50円で!』
6/25	NPO たはら広場のチケット販売許可取得	豊橋市教育委員会等へ許可依頼
7/14	田原市図書館と図書館フレンズ田原「 リサイクル・ブック・オフィスに関わる覚書 」交換	→以後年度毎の活動報告と確認を継続する
9/8	初めての活字本購入 (2003 平成 15 年度活動収益より) 贈呈式 (全 32 冊 / 92,519 円)	9月から図書館内で装備、完了後贈呈 [活動期間8/2-3/28] →蔵書に加えられた[11/4]

「図書館支援 → まち支援」 2005-2009

田原町図書館開館と共に、NPO法人たはら広場とRBO活動は一人歩きを始めた。

RBO活動開始の時期、フリースペースは市民や図書館利用者や学校帰りの子どもたちの憩いと学習の場になった。RBO活動に興味を持ちお店番をかってでる子どもたちも居た。

愛知県からの承認を受けたNPO法人たはら広場のミッションの一番上位は「市民活動支援」。「図書館はまちづくりの真ん中」という図書館活動から得た確信は、RBO拠点のフリースペースを得て育まれていった。田原で3番目のNPO法人化に力を出したメンバーらは、図書館建設と市民活動支援センターの設立に深いアドバイスを受け続けていた法政大学小川徹教授から、「たはら広場」命名のヒントを頂いた。「フリースペースという所は、広く多くの人たちが集まる図書館の一部でもあり、同時にみんなが集まる“広場”になればいいね!」との願いを込めてくださったのだった。

かくて法人名の名の通り、フリースペースという広場で「ここでみんなで学びあおう! 図書館が在るよ」を合言葉に、(子育て支援)、(自然から学ぶ)、(芸術を生活に!)などの企画が初期から実現され、まさに「図書館支援 → まち支援」の時代をスタートさせた。

田原町図書館のスタートは、「合併で図書館実現!」の象徴的な時代と完全に被る。

田原市は、平成15年(2003・H15/8/20)赤羽根町との合併で誕生、次に渥美半島全体が田原市となった(2005・H17/6/9 渥美町と合併)。人口6.5万人の田原市は、これで3つの図書館を有する(田原市中央図書館、赤羽根図書館、渥美図書館)事になった。そういう時代の中、NPO法人たはら広場は「図書館支援 → まち支援」のうちの「まち支援」の方向性を重視する活動を拡げ、田原市企画課担当の「田原市民活動支援センター」の開設に協力し、初代の運営委託団体を受託した(2007・H19/7~)。

RBO活動がまだ市民権を得ていなかったその頃の田原ではNPOといえば福祉系という認識しかなく、市民活動支援NPOというミッションを掲げた事は珍しかった。田原で初めてのNPOコンペ開催に唯一の応募団体としてまちとの繋がりを持ったNPO法人たはら広場が、田原文化会館内フリースペースという市民活動を行う場所でRBO活動を実現した実績を評価されての委託要請だった。

しかし初代表理事の交代の時期(2009/10)となり、センター受託期間は開設期の3年間にとどまり、以後センターは田原市直営で運営にする事になった。NPO法人たはら広場にとってこの期は、RBOを拠点とする田原文化広場での活動を軌道に載せつつ、田原市全体の市民活動を見守っていく中身の濃い時期だった。

以下にこの5年間のRBOとNPOの「まち支援」活動重視の記録を示す。

年	RBO記録と文化会館イベント参加記録	NPOとセンターに関わる活動
2005 (H17)	<ul style="list-style-type: none"> ・平成16年度リサイクル・ブック・オフィスまとめ(報告、収支決算書提出、覚書再検討と継続)[4/4] ・「第1回あつまれ得するサマーフェア2005」くめざせ!サスティナブル・シティ [7/27] ・「図書館3歳の誕生日会」協賛RBOオープン [8/4] 【渥美町との合併、田原市渥美図書館となる [10/1]】 ・この頃までに8/2の図書館誕生日会定着、図書館ボランティアが「イベントボランティア」となる ▶ 大活字本 購入、寄贈：41冊 	<ul style="list-style-type: none"> ・「親子で座禅」龍門寺 [8/20] ・ようこそ先輩!①石原由理氏 [9/19] ・「本・森へ帰る」まち再発見講座 たもかく/吉津耕一氏講演とWS [11/6] ・「ひげのおっさんも一度あらわる!」増田嘉昭氏講演会・メリーゴーランド店主 [11/30]
2006 (H18)	<ul style="list-style-type: none"> ・市民緑化まつり、RBO協力オープン [4/9] ・「第2回あつまれ得するサマーフェア2006」くみんなで参加、リッチ・リサイクル [7/29] ・「図書館4歳の誕生日会」協賛RBOオープン [8/4] ・「第1回田原市民まつり」 [10/22] 〈フェアトレード in 田原市民まつり~自主参加〉 ・田原市中央図書館 イベントボランティア登録制度開始 [11/7] ▶ 大活字本 購入、寄贈：41冊 	<ul style="list-style-type: none"> ・加治地区コミュニティ視察会 [愛知大8/3] ・「絵本を読みあうという事、第1回ワークショップ」村中李衣氏 [8/4] ・「山の農業」トンキラ農園訪問 [8/18&19] ・ようこそ先輩!②石原由理氏と成章高校生のジャズ交流とコンサート開催 [10/8&9] ・まちづくり市民懇談会参加(企画課) ・NPOサポーター養成講座参加 [11~2月] ・映画「神の子たち」上映&監督講演会 [2/3] ・田原市民活動支援センター開設

年	RBO記録と文化会館イベント参加記録	NPOとセンターに関わる活動
2007 (H19)	<ul style="list-style-type: none"> ・田原市民緑化まつり [4/15] ・第3回あつまれ得するサマーフェア 2007 に参加、第1回ガレージセール開催〈あつまれ!ガレージセールだよ〉 [7/29] ・「図書館5歳の誕生日会」協賛 RBOオープン [8/2] ・ブックトラック2台購入 67,200円 [10/25] ・田原市社会福祉協議会「福祉の集い」 [10/29] ・第1回しみのひろば市民活動交流会 [2/24] RBO活動発表 <p>▶ 大活字本 購入、寄贈：47冊</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・平成19年度の市民活動支援センター運営を受託(総務部総務課地域係)①サポーター業務 ②NPO講座 ③市民活動交流会 ・「絵本を読みあうプロジェクト」② 講師：村中李衣氏 [8/6] ・たはら広場5周年記念「地球交響曲VI」映画会と監督講演会 [11/17] ・「人にやさしい街づくり」東三河シンポジウム、活動をプレゼン [12/1] ・白川郷自然教室参加 [3/29&30]
2008 (H20)	<ul style="list-style-type: none"> ・田原市民緑化まつり [4/19] ・サマーフェア 2008 でガレージセール開催〈おまちなか!ガレージセール〉 [7/27] ・「図書館6歳の誕生日会」協賛 RBOオープン [8/2] ・男女共同参画フェスティバル [9/6] ・第2回しみのひろば [3/1] <p>▶ 大活字本 購入、寄贈：62冊</p>	<ul style="list-style-type: none"> 〈田原市民活動支援センター運営2年目〉 ・「絵本を読みあうプロジェクトとワークショップ③」村中李衣氏 [10/10&11] ・ようこそ先輩!「演劇ワークショップ」渡会久美子氏 [11/23] ・田原 [6/6] & 渥美ロータリークラブ [3/26] でNPO紹介スピーチ
2009 (H21)	<ul style="list-style-type: none"> ・田原市民緑化まつり [4/19] ・サマーフェア 2009 でガレージセール開催 [7/26] ・「図書館7歳の誕生日会」協賛 RBOオープン [8/2] ・男女共同参画フェスティバル [9/5] ・田原市民まつり [10/21] ・第3回しみのひろば [2/24] <p>▶ 大活字本 購入、寄贈：53冊</p>	<ul style="list-style-type: none"> 〈田原市民活動支援センター運営3年目〉 ・「アートコラボ・芸術は君のもの!」 [7/4] ・「田原の子育て支援のこれから」塩之谷真弓氏、子育て支援講座 [12/1] 〈NPOたはら広場、H21年度で市民活動支援センター業務委託終了、NPO代表理事交代〉



2007年からスタートしたガレージセールの様子

3-3 RBO 第2期 (2010-2019) ～試行錯誤と軌道に乗る10年間～

「図書館を核とする市民活動」をミッションとするNPO法人

RBO活動を充実させながらのNPO法人たはら広場の「始まりの10年間」は、前半に組織基本固め、後半は市民活動支援センター運営に力を注ぐことに終始した。しかし第1期の結果として委託事業の運営体験からは多くの貴重な経験と得ることができた。

ほぼ同じく、田原市図書館も第2期(2010・H22/4～2019・H31/3)を迎えていた。よく平成の30年間は、戦争がないが大きな自然災害が絶え間なく起こった時代と言われているが、なかでも2011(H22)の「3.11東日本大震災」は実に人間の価値観を大きく変えた原発災害であった。たとえIT技術のめざましい発展が時代の大きな変化をもたらし、その英知を存分に使えたとしても、人として助け合わねば乗り越えられない事の重大さに揺さぶられる。

そして地道に地に足を付けたRBO活動への廻りからの認識・評価を再確認する時期でもあった。そんな頃、RBO事業の利点や価値を、固定概念にとらわれず指摘してくれたのは第2期・田原市図書館長の豊田さんだった。

『RBOは良い仕組み。なにより自立するNPO活動だ』

この言葉は、活動するボランティアに自信を与えた。この仕組みをさらにどう活かすか?大切な資源をサステイナブル利用することは必要だ!という気づきを得た。

「まち支援 → 図書館支援」～『田原市図書館サポーターズ・おおきなかぶ』の誕生

RBO事業への評価と共に第2期・豊田館長は、まず田原市図書館のボランティア組織について改めて話しあう場を提案、館長室での月例会議を開くことをボランティア達に呼び掛けた。

それまでの田原市中央図書館ボランティアたちは、「オープニングフェスティバル・実行委員会(始めの3年間、2002～2004)」に力を出し、その後続いていた「田原市図書館イベントボランティア(2005～2010)」として、こどもしつのボランティア参加などを行っていた。多くはフレンズやNPO会員、読み聞かせ等を行なう「くぬぎの会」や手づくり布絵本を作成し続けている「ハンドの会」メンバー達だった。

始まった館長室での月例会議では「利用者による図書館サポートの仕組み」をムリなく、どう、誰が運営して行くのか?を最重要ポイントとし、新しい会の骨子が検討された。

ボランティア参加者からは、「会費ナシ、拘束ナシ、しがらみナシを基本に図書館ボランティアしたいはず!」というかなり難しいテーマが上がってきた。しかも図書館と共にできる社会貢献度の高いボラ活動の内容を「情報開示」し、「活動状況を案内」する…つまり運営の仕組みが必要であり、「いつでも、誰でも、時間がある時に、参加できる時間だけ」図書館ボランティアができることが望ましいね!とのかなり理想的な考えが示された。

結果、運営者としてNPO法人たはら広場が選ばれ、この理想が「標語」になった。

「田原市図書館サポーターズ・おおきなかぶ」という“図書館ボランティアグループ”の誕生だった(2012・H24/3/21)。



もちろんすべてが受け身であるという事ではなく、かぶボランティア参加者自身が継続的な情報をもらえて、活動をもっと知りたかったら、連絡先の開示が必要、とした。さらに必要な運営財源は、NPOと図書館との詳細規約であった「RBO収益の10%を市民活動支援のために使う」を変更、『収益の50%』で、新体制に取り組むことになった。

第2期田原市図書館は、社会問題へのアプローチを促す「伊良湖フェリー存続？」等の図書館テーマ展示や、ハンディキャップサービス(元気はいたつ便事業やにじいろサービス事業)などを実行し、「打って出る図書館」としての行動に踏み切っていた。そして何よりも市民とのコミュニケーション重視で、図書館スタッフとおおきなかぶボランティアとのつながりを深めていった。

また図書館協議会におおきなかぶ代表一人配置、図書館10周年、田原市制10周年など節目の大きな記念事業等に、おおきなかぶとの協力を強めて行った。

「図書館支援 = まち支援」

初期の頃から行っている「たはらエコフェスタ(旧サマーフェア)」の「RBOガレージセール」は、雑誌除籍資料を一年分一挙に販売する魅力があった。この事業は暑い季節にもかかわらずオープンを待つ利用者が開店前から並ぶ、お馴染みのイベントになっていった。

一方利用者や視察者に「RBOで販売される資料はどう生まれて、どういう経路でここにやってくるのか？」の説明をすることも多くなった。そこで、RBO資料が辿る経路を自らも追いかけるという『田原市図書館の本の一生(2016/12/11)』企画が、図書館司書の協力で行われた。いわば「図書館探検隊」であった。さらにこの実践の様子が伝わり「東三河市民活動訪問プロジェクト・どすごいバス旅行(2017/10/28)」イベントが提案された。当日は館長による図書館PRも加えられ、この解かりやすい「ひと味違う図書館探検隊=本の一生」発展・拡大版は、「図書館とRBOの役割理解イベント」となった。

この様な経緯を経て、RBO活動実績が見えるものになってくると、RBOお店番ボランティア参加者が増えてきた。図書館の本を大切に作る図書館整備ボランティアともいえる「本ぴか隊(こどもしつのはんをピカピカにするボランティア)」も発足した。つまり図書館活動の理解者が増える、という相乗効果を生んで来ている。司書さんの仕事を知ることによって自然と生まれた「図書館支援」であり、NPO法人たはら広場設立の時からミッション『まち支援』となっていたのだ。反響はRBO(リサイクル・ブック・オフィス)の賑やかさとなって現れている。

以下反省や確認をこめて第2期を振り返る。

年	図書館とRBO活動	まちやNPOの活動
2010 (H22)	<ul style="list-style-type: none"> 〈図書館第2期〉元気はいたつ便開始 ・ブックトラックに続き台車を購入 ・サマーフェア2010でガレージセール開催 [7/25] 4年目好調 980冊売上 ・図書館8歳の誕生日会 [8/2] ▶ 大活字本 購入、寄贈：57冊 【H22年度末の2011/3/11、東日本大震災が発生】 	<ul style="list-style-type: none"> ・田原緑化まつり [5/18] ・サマーフェアとガレージセール開催 [7/25] ・男女共同参画フェスティバル [9/11] ・田原市民まつり [10/24] ・福祉の集い [11/14] ・しみんのひろば [1/30]
2011 (H23)	<ul style="list-style-type: none"> ・東日本大震災支援「あおぞら市」 [4/17] 参加、売上 12,000円義捐金寄付 ・RBO広報／看板と説明表示リニューアル、ボランティア名札作成、運営マニュアル作り ・エコフェスタ(旧サマーフェア)2011でガレージセール開催 [7/24] ・図書館9歳の誕生日会 [8/7] ▶ 大活字本 購入、寄贈：48冊 	<ul style="list-style-type: none"> 〈震災により各種イベントの開催自粛あり〉 ・「図書館で何ができる？」啓発4企画 [7/18~1/29] ・「なんと言ってもYA!(ヤングアダルト)」講演会(ゲスト:金原瑞人氏／豊川堂:共催&あつまるタウン田原:後援企画) [8/6] ・市民まつり [10/27] ・福祉の集い [11/13] ・しみんのひろば [2/26]
2012 (H24)	<ul style="list-style-type: none"> ・東日本大震災支援「陸前高田市図書館ゆめプロジェクト」H24/11月から参加開始〈バリューブック／チャリポンシステムに登録、活動開始〉 ・エコフェスタ2012でガレージセール開催 [7/22] ・図書館10周年記念事業 [8/4] 「泉名月記念ふしぎ図書館」を2F一角に開設 [10月] ~ふしぎ半島プロジェクトへの取組み継続~ 連携協力 ・リサイクル・ブック・オフィス(RBO)「お店番ボランティアマニュアル(p4下)」作成&当番制開始 ・『田原市図書館サポーターズ・おおきなかぶ』誕生 [3/21] ・新NPO運営規定開始(運営費50%活動費) ▶ 大活字本 購入、寄贈：33冊 	<ul style="list-style-type: none"> ・田原緑化まつり [4/15] ・田原市民評価委員 [9/10&13] ・市民まつり [10/28] ・福祉の集い [11/11] ・図書館10歳の誕生日記念事業「藪内正幸原画展~渡り鳥きぶん~」開催 [12/8-14] ・塩尻&小布施市視察 [12/20~] ・しみんのひろば [2/24]
2013 (H25)	<ul style="list-style-type: none"> ・東日本大震災支援「ゆめプロジェクト」継続 ・第1回アースディ/白谷で本の出張販売 [4/21] ・(財)シャンティ「走れ!東北」募金1万円 ・図書館11歳の誕生日会(お茶会) [8/3] ・エコフェスタ2013でガレージセール開催 [8/4] ・元気はいたつ便「回想法」講座始まる [9/6] ・田原市制10周年記念事業「まちほん~田原まちじゅう本想い~」 [11/16&17] ▶ 大活字本 購入、寄贈：31冊 	<ul style="list-style-type: none"> ・田原緑化まつり [4/14] ・市民まつり [10/27] ・福祉の集い [11/10] ・田原市制10周年事業「まちほん~田原まちじゅう本想い~」でブック交換会と一箱古本市、図書館と開催 [11/16&17] ・しみんのひろば [2/23]
2014 (H26)	<ul style="list-style-type: none"> ・(財)シャンティ支援の継続 ・東日本大震災支援「陸前高田市図書館ゆめプロジェクト」継続 ・折り畳みコンテナ購入 ・ブックトラック修理 ・エコフェスタ2014でガレージセール開催 [7/27] 中高大生の参加／募金、準備等 	<ul style="list-style-type: none"> ・アースディたはら拡大版 [5/31&6/1] 参加 ・(財)シャンティ南相馬市訪問、移動図書館事業「走れ!東北」参加 [7/19] ・市民まつり [10/26] でクラフトエイドとフェアトレード製品委託販売